

2020年10月12日

各位

東京都台東区東上野一丁目7番15号
ヒューリック東上野一丁目ビル5階
株式会社エヌ・ピー・シー
代表取締役社長 伊藤 雅文
(コード番号:6255 東証マザーズ)
問合せ先 専務取締役 廣澤 一夫
(TEL 03-6240-1206)

新たな事業の開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、新たな事業を開始することを決議しましたのでお知らせします。

記

1. 事業開始の趣旨

当社は、変化に強い企業になることを目指しており、外部環境や市場の波を乗り越えるため、これまで太陽光パネルのリサイクルや多様な業界にFA装置の提供を開始するなど、事業や業界の幅を広げてきました。

近年の日本では、気候変動に伴う自然災害が多発しており、安定した野菜の生産が難しい状況となっていることや、コロナ禍において室内で栽培された野菜への注目度が向上している状況です。そこで、今回は葉物野菜の人工光植物工場という、時代の変化に対応した新事業の展開を考えています。

松山工場の一部に人工光植物工場を設置することで既存リソースも活用し、栽培に必要な電力はリユースパネルを用いて環境負荷を抑えながら低コスト化することを考えています。また、人工栽培を行いながら栽培ノウハウを蓄積していき、装置メーカーとしての技術や経験を活用し、将来の需要増加に備えて自動かつ省エネの人工栽培システムの開発を進めてまいります。

2. 新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容

当社松山工場に室内栽培ができる人工光植物工場を設置し、地産地消の野菜として愛媛県内を中心に販売していきます。

(2) 当該事業を担当する部門

人工光植物工場の運営は、当面は全て松山工場の既存部署が担当する予定です。また、事業計画の企画・立案及び生産した野菜等の販売ルートの開拓は、新事業を担当する部署であるビジネスクリエーション室が担当する予定です。

(3) 当該事業の開始のために支出する金額及び内容

2021年8月期に、初期投資として約85百万円の支出(設備投資)を見込んでおります。

具体的な投資の内容は、当社松山工場への人工光植物工場の設置費用、植物工場の運営に必要な栽培システム導入や付帯工事、及びリユースパネルを用いた太陽光発電システムの設置費用等を想定しております。

3. 日程

取締役会決議日	2020年10月12日
株主総会開催日（定款の一部変更）	2020年11月26日（予定）
事業開始期日	2021年2月1日（予定）

4. 今後の見通し

2021年8月期における損益への影響は軽微であり、2021年8月期の業績予想は、本件を考慮して算出しております。

以上

(参考) 当期連結業績予想（2020年10月12日公表分）及び前期連結実績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (2021年8月期)	5,849	327	303	277
前期連結実績 (2020年8月期)	7,938	879	884	749